

議会報告会実施報告書

- 1 開催日時 平成26年4月18日(金) 19時00分～20時50分
- 2 開催場所 当別町総合保健福祉センター 多目的ホール
- 3 出席議員 議長 高谷 茂 会長 後藤 正洋 副会長 竹田 和雄
 柏樹 正 岡野 喜代治 臼杵 英男 桐井 信征
 市川 正 小早川 孝男 石川 和栄 稲村 勝俊
 古谷 陽一 山田 明 秋場 信一 西村 良伸 (15人)
- 4 欠席議員 神林俊一 島田裕司 (2人)
- 5 参加者 55人
- 6 事務局 局長 滝本 隆志 次長 佐々木 由紀夫 主幹 小川 義則 係長 浦島 卓
- 7 実施内容 開会・開会挨拶 4分
 議会報告 31分
 議会報告に対する質疑 2分
 懇談 72分
 閉会挨拶・閉会 1分

8 報告会の概要

(1) 議会報告(報告会資料 10ページ)

① 12月定例会、3月定例会報告

岡野議会運営委員会副委員長 定例会の会期、議員提出議案の説明と議会改革の取り組み状況等について

山田予算審査特別委員会委員長 予算審査特別委員会での審議状況や全会一致で可決した委員会報告書について

市川総務文教常任委員会委員長 12月定例会での庁内情報機器更新整備委託、3月定例会での新年度予算の新規事業である非常用電源搭載車購入事業等の審議経過について

小早川総務文教常任委員会副委員長 3月定例会における総務文教常任委員会に付託された4件の陳情案件の審議結果について

稲村産業厚生常任委員会委員長 12月定例会での除排雪業務委託やパンケ川河川改修工事、3月定例会での新年度予算の除排雪事業や除雪機械導入事業や、子ども発達支援センター建設事業、道の駅基本計画及び基本設計委託事業等の審議経過について

古谷産業厚生常任委員会副委員長 3月定例会における産業厚生常任委員会に付託された2件の陳情案件の審議結果について

柏樹議会広報特別委員会委員長 議会広報特別委員会の広報編集状況や、常任委員会などの議会活動の周知する工夫などについて

② 質疑

出席者 総務文教の委員会報告書の中で、教職員の再任用の陳情は、不採択となっているが、先程の報告では採択と言っていたと思うが、どちらが正しいのか。

議会 委員会報告書の通り、不採択である。

(2) 懇談

議会 今日テーマとして案内させていただいている、議員定数と報酬についてであるが、2回目の議会報告会では各団体長さんに集まってお聞きいただき色々な意見や、事前のアンケートを取らせていただいた。1回目は町内会長さん、2回目は各団体長さんに色々な意見をいただく中で、その間に議会として議員定数について一定の方向を出そうと議論してきた。結論としては、現在の17名から2名減員して15名の定数にしてはどうかとの事で合意を得たところである。これは最終決定ではないが、ここで議会の考え方を示させていただいて、今日集まってお聞きいただいた皆様から色々な意見をいただき、更に検討を加えて結論を出そうとの考えである。今日の資料で前回までの報告会での懇談経過として議事録的な報告のまとめをさせていただいたものを付けさせていただいており、その中で、3ページに前回の報告会で事前にお聞きいただいたアンケートの結果につきましては、議員を増やすべきが1団体、現状維持が9団体、減らすべきが17団体であった。報酬についても増やすべきが5件、現状維持が13件、減らすべきが9件であった。その事を踏まえて2回目の報告会で、出席いただいた方から色々な意見をいただき、その意見集約についても資料の方に書かれているので、後程ご高覧願いたい。そう言った事を踏まえて、議会改革推進協議会という全員協議会、役員会で議論を重ね、各会派でも議論を重ねてきた。その中では定数については現状を維持して、報酬を減らしてはどうかとの少数意見もあったが、しかしながら多数の意見としては現行の17名から2名減員して、15名の定数で来年の4月の統一地方選に向けて条例を改正してはどうかとの意見で一定の方向を出させていただいた。以前には、17名の定数を5名減らして12名にしてほしいとの意見書を提出された事もあったが、その意見書については審議をした結果、今の議会の現状に鑑みて、委員会の構成や審議の質を担保すると言うことや、幅広い中から議員へ立候補するために5名削減する事が得策ではないとの判断から、採択とはならなかった。しかしながら、議会としては皆さんの意図が何処にあるのかを探りつつ、議論を重ねて17名から2名減員するとの一定の方向を出したところである。その背景には、住民の方が町政に係わっていただく方法が、メールなどによって直接、町長や部局に対して、直に意見や要望が言えるような、色々な方法が進んできている状況である。必ずしも、議員を通じて色々な意見を町の方に上げていくのが有効ではない、色々な方法があると思うし、議会としても、このように議会の活動を直接知ってもらう場を作っていくべきと思っている。

議会 繰り返しにもなりますが、議会改革推進協議会は昨年の3月に立ち上げて、今日まで約1年経っている。以前から議会改革は議運が中心になって議論してきたが、議員定数と報酬の問題については、議運での協議とは別に協議すべきではないかとの事で立ち上げたものである。その後今回で3回目になる議会報告会を開催し、皆さんとの懇談を通じて色々な意見を伺って、議会としての考え方をどのように纏めるかであるが、皆さんの意見を中心にし、それぞれ各会派で慎重に審議して意見の集約をしてきた経過である。その中では、現況の17名の定数を減らすべきではないとの意見もあったが、全道の町村のデータとして手元にある通り、144町村の議員の定数はその町の人口対比によって決めている事が多いと思う。過去、2万人を超える人口のピークの時から、今現在は約3千人も減っている状況であるので、今回2名程度の定数を減らすべきではないかとの事が今の議会の考え方であるので、6月の議会最終的に決定し条例改正のうえで、来年の統一地方選挙に向けて取り組んでいきたいと思っているので、皆様方の貴重な意見をお聞かせ願いたい。

出席者 当別町の人口が毎月減っている状況であり、他の自治体も同様に定数削減を行っている状況であると思いますので、いま議会側が考えている内容で進めていく事が適当ではないだろうかと思う。

議会 今、人口の話があったが、2、3年前に未来総研の方から出された人口推計が出されていたが、たしか2040年には、当別の人口が、1万1千4百人程度になるとの予測であって、

ピーク時から約1万人減っていくとの予測であった。そういう危機感から、宮司町長も人を呼び込み施策を取っており、議会としてもその施策について真剣に審議をさせていただいている。実際にその推計が当たるかどうかは分からないが、その傾向は全道的に見ても減ってきており、札幌市の人口も増えていかない結果であったと思う。そういう将来の事を見越してどうするかとの視点でも、定数をどうするかとの議論をさせていただいている。

出席者 前回言ったように、17名の議員が限界ではないかと考えている。これ以上減らすのには疑問を持っている。議員には地域の持っている、それぞれ多種多様な意見を汲み取って議員活動をされる事を期待している。議会の情報発信ももっと発信してはどうか。委員会の開催などについて、新聞掲載してはどうか。当別町の人口が減っていて、地域の中でも顕著なのは、子どもが居なくなるなどの問題である。

議会 元議員クラブの皆さんからは、前回も定数は減らすべきではないと聞いており、その事も含めて議論してきている。情報発信が少ないとの事は、今後の改善課題と捉えている。

議会 議員定数については、何年も前から議論してきており、そうした中で、このような議会報告会で色々な意見を伺って各会派の考え方を集約してきた経過であり、人口減少の問題では、いまの現状では増える見込みがなく、財政状況もまだまだ厳しい状況である事から、公明党としては1~2名の減員として、会派の中で議論してきたものである。

出席者 定数については、報酬ですとか予算に大きく関係していく部分であると思う。日本全国的に人口が減り続ける状況であるので、議員定数についても、減らす必要があると思う。報酬については、余りにも低い報酬では支障を来たすので減らすべきではないと思う。

出席者 方向性は分かったのだが、4つの会派が同じ叩き台で話し合って結論を出しているのか。定数を減らす人数というのは、何を基準に決めたのか教えてほしい。

議会 各会派で話し合っているだけではなく、各会派の意見を取りまとめた上で、17名の全議員から意見を述べ合いながら叩き台を今日、皆さんにお示ししたものである。どういう基準があるかとの事だが、法的には昔は人口で上限が決められていたが、法律が改正され上限も下限も無くなって、議員の定数を決めるのに基準は無くなった。今日の資料にあるように、全道の平均で同規模の町村ではどのくらいの議員が居るのが分かっていただけだと思う。1,000人に1人が良いのか、1,500人に1人が良いのかなどの基準は全く無いので、議会を維持するために、議員として活動するのにどういう形が一番相応しいかという事で、今、常任委員会が2つあって、実際にしっかりとした議論が出来るために、何人位が最低必要かという事を考えて、それぞれ2つの委員会に7人づつ居る事が議論の質を維持するためには必要だろうとの事で、2名減として質を落とさない議会を行っていくとの基準である。

議会 基本的には、以前5名減してほしいとの意見が住民から出されたが、5名減するというのは議論の質を担保するために、17名から12名にするというのは無理があるとの判断でその時は、5名減という意見書については不採択としたが、今後、定数を協議する中では、今の17名の定数を維持するとの発想では無く、色んな要素を鑑みて、委員会の議論の質を担保する数がどこかという事で議論してきた。4つの会派と個人から色々な意見を出してもらい、それについて17名全員で議論してきた結果、少数意見はあったが、2名減して15名にする事が最善ではないかとの方向を出させていただいた。この事は最終決定では無く、今日皆さんから色々な意見をいただく中で、この後それを参考にさせていただいて、6月定例会まで仮に纏まれば、6月の定例会に条例を改正して、来年4月の統一地方選挙から採用していく形に出来ないかと思っている。

議会 昭和50年頃に議員になった当時は、今と同じ位の人口で1万7千人位で、議員の数は26名であった。当時26名居た議員は、大体地域それぞれの町内会から1名位は出てきて、その地域の色んな要求と言うのを行政に反映していたと思う。第5次総合計画では、人口2万人を維持しようとするもので、これからも減っていくからという事ではなくて、何とか活

性化させて人口を増やそうとする為には、議会の役目は色んな形であると思うし、議会のチェック機能を含めると、最低限のこれ以上定数を減らすべきではない事を、会派の中に含まない少数意見として出したと言う事を参考にしていきたい。

出席者 議会基本条例と町民の意見を聞くとの関係はどのような形になるのか。

議会 それぞれの議会で定数を決められる法律になっているので、現在の定数は17名であるので、15名にするには条例改正が必要であって、議会の公開と広報公聴については、議会の義務であるので、こういう機会を作っていきたいと考えている。現在、当別町議会基本条例を作るか作らないかについては、今後の議論としているところである。

出席者 議員の皆さんが今まで検討して、15名との予めの見通しを付けた事は、揺るがない数だと認識はせざるを得ないと思うが、44町内会の中から、それぞれの立場で擁立され誕生した議員が、町政や議会の場を立ち上げていく事になる。定数が少なければ少ないほど、地域にどれだけ責任ある対応や参加をしていけるかが難しくなっていくと思う。

議会 我々が検討した中では、町内会という事ではなく、全町を限なく見た形での議員活動をしていくべきと考えている。

議会 これから人口が減って行って、少子化で子供たちが減って行って、どう地域を維持していくのか、町内会単位での維持が難しくなるのではないかと思う。議員全体が町全体を見て考えていく事が、議会の改革や町の発展に繋がっていくと思うので、定数を減らす事は間違っていないと思う。

議会 商工会の関係もやっているが、商工の方だけではなく、当別全体の事を考えて議員活動をやっており、教育の事、高齢化の事などを、当別全体の問題として、議会として行政にぶつけていかなければならないと思っている。議員の定数については、人口が減っていく中で、無投票によらず選挙による審判を受ける事は大事な事だと思う。

出席者 議論の質を落とさない為にも、議員の質を高める為にも、議員自らが2名減という案を出された事には、賛成したいと思っている。

出席者 全町的な考えを持ちながら職務を全うする考えは聞かせてもらったが、もっと心のある対応で頑張っていたきたい。

出席者 町長から提出された議案をチェックする責任を負う、議会の活躍を期待しており、当別に住んで良かったと、住んでみたいと思えるような状況を切磋琢磨して作ってほしいと心から願っている。

議会 理想とする事と現実には乖離があると思うが、理想を立てて目標とする事を目指そうとする姿勢を持ち続ける事が大事であると思う。定数を2名減する理由について、色んな事を思ってもらったと思う。出来るかどうかは分からないがそこを目指して、私達が定数を減らそうとしている事は信じていただきたい。

出席者 議会の中で真剣に取り組んだ事に対しては評価したいと思う。15名の数字が妥当なのではないかと思う。これから全町的に地域にどんどん出て行ってもらうように実行していただきたい。議員定数については、15名は適当だろうと思う。

議会 議会報告会の今後としては、議員も2グループから4グループに分けて各町内会へ出て行って、膝詰めで皆さんとお話をしていく議会報告会を目指していきたいと思っている。定数について今日は、皆様からいただいた意見を持ち帰って、更に検討させていただいて、今日結論を出すという事ではありません。その他に、町内会で抱えている問題とか町政、議会に関する意見などがあれば伺いたい。特に、町については執行者ではないので、直ぐに答えられないものについては、持ち帰って部局と協議をさせていただいて、お答えしていきたいと思っている。

出席者 当別ブランデリーに携わっている方々に敬意を表するものであり、その中で是非取り組んでいただきたいのが、当別のお酒である、雪ふくろうを公式の場でこれを乾杯に使うなど

とすると、米の生産者の手助けになると思うが、そういう条例制定をしてはどうだろうか。
議会 今も、町長などは手土産として持って行っているが、条例化に向けては、今後提案していく事は出来ると思う。

出席者 国保税の滞納が非常に多いとの事であるが、経費を引いて所得対象が200万円の人が単身で25万円で、家族1人居ると3万7千円が加算されるとの事であった。所得が1千万円の人では単身で71万円に家族が居れば3万7千円加算され、所得が2千万円では、73万円と家族が居れば3万7千円加算されるという事で、国保税の滞納の問題ももう少し上限を厚くして、下層をもう少し安くするように低所得者の課税が課題であると思う。

議会 議会としては、決算審査や予算審査の時に滞納等については毎年審議しており、国保税だけを見るとそのようになるが、国保税以外の税金の納入の事についても総合的に考えていく必要があるし、特に滞納している理由がなぜなのか。払えるのに払わないのかが大事だと思うので、議会では議論しながら今後対応していきたい。

出席者 議会中継の実施を是非やっていただきたい。議会を傍聴しようと思っても、勤労者の方は平日の昼間はなかなか聞きに行けないので、ネット配信をしてもらえれば別の場所でも見られ事になり、アーカイブで録画が出来れば仕事が終わった後で家で見れる事になり、是非やってほしい。むかわ町では、議会中継をストリームで既に行っており、予算も大きな金額が係らないもので是非検討してほしい。

議会 議運の中でも、これを取り上げようと検討しており、予算的なものや、時期的なものを検討しているところである。

議会 先程の国保税の問題は、国保運営委員会の中でも検討している課題であるが、当別は全道で1~2ヶ所しか実施していない固定資産税付加税が加算されており、財産がある人には、少し多く払うように固定資産税に対して付加される事になっている。

議会 町内会等には色々な問題があると思うが、その事は直接、町の方にこういう意見がありませんと言ってもらっても構わないし、議員への連絡等については、議会事務局を通してもらえれば、電話番号などは全てオープンにしている。

議会 今日、約2時間という長い時間になったが、議会報告を各委員長と副委員長からさせていただいた。こういう場を、なるべく各町内毎に皆さんの近くの会館で議会の報告が出来るようにして、それぞれ地域の抱えている問題などについて忌憚のない意見をお互いに交わせるようにしていきたいと思っている。今日で3回目になるが、議会報告会はこういうものかなと理解していただいて、議員もだんだんと勇気付けられてきたかなと思っていますし、今後、この報告会を開催するときには、議員の半分で出かけて行って、皆さんの質問に答えられるような議会活動をしていきたいと思っており、今後ともお世話になると思いますし、一層のご理解をいただき、こういう場に参加いただきたいと申し上げて、お礼に変えさせていただきます。